

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 春日部武里教室

保護者等数(児童数)4

回収数 3

割合 75 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3				広く使ってのびのびと過ごせている	スペースを活かした活動を実施していく
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	2			1	たくさんの職員が対応してくださっていて安心できる	今後も適切な職員配置を意識する
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3				ホワイトボードで分かりやすく示されていて子供も分かりやすいと思う	継続して視覚化を実施していく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3				きちんと清掃されていると思う	引き続き毎日の清掃を徹底する
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3				悩みをしっかりと支援に反映して頂けていると思う	引き続きニーズに沿った支援計画を作成していく
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3				たくさんのイベント活動が組まれていて子供が楽しんで参加できている	継続して様々なプログラムの立案を実施していく
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1				2	
保護者への 説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3				契約の時にきちんと説明していただきました	今後も丁寧な説明を心がける
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	3					
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3				些細なことでも親身に聞いてくださってとても助かります	各ご家庭に寄り添った支援を継続していく
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3				半年に一回の面談があるが様々な助言を頂けている	継続して実施していく
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1				2	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3					
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3					
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3					
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	3					
非常時等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3					
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3					
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	3					
	23 事業所の支援に満足しているか	3					

64

0

0

5

93%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 春日部武里教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10		活動スペースの区画化を行い安全な支援を心がけている	今後も区画の視覚化やルールの周知を進めていく
	2 職員の配置数は適切であるか	10		利用児童数に合わせた職員配置を行っている	継続して適切な職員配置を心がける
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	1	あらゆる物品、行動、ルールに関して視覚化を実施し、伝えやすい環境を整えている	特性に応じた構造化を試行錯誤し続けていく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	1	毎日清掃を行い、適宜消毒や換気も実施している	コロナウイルスをはじめ様々なリスクを少しでも減らせるよう継続していく
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	2	定期的な職員面談を実施し業務改善を図っている	勤務日数の少ないパート職員への面談ができていないこともあるためより良い方法を模索していく
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1	評価表をはじめ、日頃の関わりから意見等を聴取し業務改善につなげている	引き続き保護者からの意見・要望を反映しより良い教室づくりを進めていく
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	3	評価表を振り返り、職員へのフィードバックや業務の改善につなげている また、教室ホームページへの公開を実施している	詳細な共有や改善策等の提案が不十分であるため今後より一層意識を高めるためにも実施していく
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	3	虐待防止研修をはじめとした定期的な研修、ミーティングを実施し、業務の質向上に努めている	出勤の都合で参加できない場合があるため研修資料の共有を徹底して全体としての効果を高めていく
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10		保護者との面談もしくは児童への聞き取り等を適宜行っている	引き続きニーズに沿った支援を提供してけるよう努めていく
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10		支援計画をファイリングし全職員が見やすいよう配置している	今後も支援計画に即した支援を心がける
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	2	ミーティング等の機会を案出し合いながらより良いプログラムの立案を行っている	引き続きニーズを組み込んだプログラムを思索していく
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10		月の行事をプログラムに反映させるなどの工夫で固定化を防いでいる	固定化しないために職員や利用者からプログラム案を募れると良い
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10			
関係機関や保護	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10		朝礼を毎回実施し、子供の様子や支援内容の共有・確認作業を行っている	今後も継続していく
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	4	業務時間内で時間が確保できれば情報共有を行ったり確保できない場合には情報共有ツールを用いている	今後も共有もれなく適切な支援ができるよう努めていく
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		連絡帳にて記録を取り、共有を行っている	今後も実施していく
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10		モニタリングを行い計画の見直しを行っている	引き続き定期的なモニタリングを実施していく
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1		
関係機関や保護	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	3	市役所や相談支援事業所と連絡を取り合い適切な支援ができるよう努めている	今後も引き続き連携をとっていく
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	1	該当児童なし	該当児童なし
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		2	該当児童なし	該当児童なし
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	1	該当児童なし	該当児童なし

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	2	お迎えの際に様子や支援内容等の情報共有を行っている	引き続き連携をとる
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	7		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	7		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		送迎の際に相互に情報を共有し、共通理解を持つよう心掛けている	引き続き情報の共有を行っていく
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	31	2	必要に応じ面談や送迎時などに支援を行っている	引き続き実施していく
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10		契約時や質問が来た際に丁寧な説明を行っている	引き続き実施していく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10		受けた相談を職員間で共有し、助言や支援につなげている	今後もより良い支援ができるよう努めていく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10		受けた相談を職員間で共有し、助言や支援につなげている	今後もより良い支援ができるよう努めていく
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10		毎月のお便り発行やブログの更新を行っている	引き続き実施していく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10		個人情報の扱いを職員全員に注意喚起している	引き続き徹底する
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	3	各マニュアル作成済み、定期的な訓練を実施している	保護者への周知が不十分のため改めて書面等での周知が必要である
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		活動プログラムの一環として定期的実施している	継続して実施していく
非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	3	契約時アセスメントにて確認している	継続して実施していく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	対象者なしのため現時点では対応なし	利用があった場合には適切な対応を行う
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		どんなに細かな事例でも記録を残しミーティング等での共有もしている	継続して実施していく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1	定期的に研修を実施している	継続して実施していく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	1	契約時に説明し同意を得ている	継続して実施していく